

二〇二二年一月一日(参加者二四名)

刃物売り話巧みに大根切る	小袖
煮えたかとおつづく大根穴だらけ	たか子
コロナ禍で悴む心句に晴らす	明日香
大根の肩がはみ出すレジ袋	豊実
悴む手振る空港の別れかな	小袖
悴みて心に憂ひ募りけり	わかば
悴む手もて鬩伽桶を洗ひけり	明日香
悴みて釣り銭落とす朝市場	よし子
尼寺の大根匂へる厨口	みづき
悴みて珈琲カップ双手持ち	満天
葉は菜飯皮はきんぴら庭大根	うつき
濯ぎ物悴む指をなだめつつ	たか子
自転車に振り分け大根父帰る	よう子
闘病の夫煮大根旨してふ	やよい
悴む手生命線に息を吹く	かかし
沙弥総出禪掛けして大根干す	せいじ
煮大根煮れば煮るほど飴色に	明日香
悴みて明日の二合の米を研ぐ	よう子
悴む手ホットレモンにほぐれけり	満天

悴みてテニスラケット手につかず	ぼんこ
悴む手ぐうちよきばあと指体操	かかし
スーパールの切売り大根逆立ちす	よう子
抜くまでは長さわからぬ大根かな	明日香
悴む手息吹きかけて励ましぬ	こすもす
紙漉女水操りて悴まず	宏虎
大原の家並み軒々大根干す	みづき
余りたる煮大根カレーに変身す	なつき
大根のリヤカー引いて農学生	素秀
悴みて弁解しどろもどろかな	うつき
悴みて山頂に待つ御来迎	はく子
悴みてポケットの句帳出たがらず	ぼんこ
悴む手小さき両手がつつみ呉る	もところ
悴みて解けぬ結び目鋏入る	満天
立ち往生めく大木や大根干す	せいじ

WEB句会みのる選・二〇二二年一月一日